

# 総合工学委員会科学的知見の創出に資する可視化分科会 (第25期・第8回)

## 議事要旨

- 日時：令和5年7月21日（金）12:00～12:50
- 会場：日本学術会議会議室6-A（1）（2）  
Zoom併用（ホスト場所は慶應義塾大学理工学部情報工学科藤代研究室）
- 出席（12名，五十音順，敬称略，\*は遠隔参加）：跡見 順子，伊藤 貴之，大倉 典子，大林 茂\*，越塚 誠一\*，小山田 耕二，下條 真司\*，高橋 桂子\*，田中 覚，萩原 一郎，藤代 一成，明和 政子\*  
オブザーバ：影山 祥子（事務局）

### 議事内容

- （1）前回（第25期・第7回）議事録確認
  - 資料25-8-2の確認が行われ，承認された。
- （2）25期見解改訂について
  - 藤代幹事，田中幹事，伊藤委員から，資料25-8-3に基づいて，見解案第4校の内容に関する概要説明があった。
- （3）未来の学術振興構想「学術の中長期研究戦略」の応募結果について
  - 伊藤委員，田中幹事，藤代幹事から，資料25-8-4に基づいて，採択された3件の応募内容に関してそれぞれ概要説明があった。
- （4）第8回公開シンポジウム開催について
  - 田中幹事から公開ポスタ（資料25-8-5）を用いて，概要説明があった。
- （5）第三部会 各分野別委員会活動報告
  - 萩原委員長から資料25-8-6に基づいて，本分科会の当期の活動概要ならびに来期に向けて課題別委員会設置の構想に関する説明があった。
- （6）その他
  - 跡見委員から資料25-8-7に基づいて，細胞-身体可塑基盤からの自分を知り育てる科学知見創出に資する可視化小委員会25期7回（令和5年9月5日予定）の開催趣旨に関する説明があった。
    - 大倉委員より半日短縮案が出され，検討することになった。
  - 田中幹事より，残りの3小委員会も今期の最終小委員会を9月中に開催する予定である旨報告があった。
  - 小山田委員より，生成系AIに対する幅広い議論に「デジタル視考」，特に「可視化出自管理」を応用する活動を期待したい旨意見が出された。大倉委員からは，「デジタル視考」に含まれる「深層学習」をより包括的な「機械学習」に格上げする改訂案が提案され，今後の発出時に考慮することになった。

- 次期の課題別委員会に関して、主要トピックを生成系 AI と可視化に絞る案や、連絡会議としての実現可能性も含め、他の分科会の例を参考に、具体的な提案手続きに関する議論があった。田中委員からは、次期の実施体制の確立を要望する意見が出された。
- 下條委員から、未来の学術構想で多くの提案が提出された「データサイエンス」のグランドビジョンにおける可視化関連の活動に期待する発言があった。
- 大林委員から、生成系 AI に関する議論の深化や、文系の研究者からのニーズに応える文理融合のさらなる進展へ期待する意見が出された。
- 明和委員から、可視化技術の人への活用において特に心の問題が重要である点から、第一部との連携による発展を期待するとともに、生成系 AI は、「機会均等」から「個別化活用」へ移行している現況をふまえた議論を今後要望する意見が出された。
- 高橋委員から、可視化の諸課題に関して、第一部（例：法整備）、第二部（例：健康問題）との横断的取組みの強化を要望する発言があった。

#### 配布資料

資料25-8-1：議事次第

資料25-8-2：第7回議事録

資料25-8-3：25期見解案改訂版

資料25-8-4：未来の学術振興構想「学術の中長期研究戦略」要旨3件

資料25-8-5：第8回公開シンポジウムポスタ

資料25-8-6：第三部会 各分野別委員会活動報告（案）

資料25-8-7：細胞-身体可塑基盤からの自分を知り育てる科学知見創出に資する可視化  
小委員会25-7